

－ 記者発表資料 －

平成24年度 宇都宮国道事務所の事業概要

○宇都宮国道事務所では、栃木県内（一部茨城・埼玉県内を含む）の国道4号、新4号国道及び国道50号の整備及び管理を行っています。

○平成24年度は、約72億円で事業を実施します。

主な事業は以下のとおりです。

〈国道4号〉

- ・うじいえやいた氏家矢板バイパスは、今年度内の全線4車線開通に向けて、道路設計、用地買収及び改良工事を実施します。
- ・にしなすの西那須野道路は、道路設計、用地買収及び環境整備工を実施します。
- ・やすづかかいどういりぐち安塚街道入口交差点改良は、今年度内の完成に向けて、調査設計、用地買収及び改良工事を実施します。
- ・おおはらま大原間歩道整備は、調査設計、用地買収及び改良工事を実施します。

〈国道4号（新4号国道）〉

- ・かすかべ こが春日部古河バイパスなど多車線化に向けて、道路設計、改良工事及び橋梁工事を実施します。
- ・いしほし うつのみや石橋宇都宮バイパスは、今年度内に6車線で全線開通する予定です。

〈国道50号〉

- ・おやまちく小山地区交差点改良は、渋滞及び交通事故対策を目的として、調査設計及び改良工事を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
栃木県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所
電話 028-638-2181（代表）
副所長 しみず のぶお清水 信男 計画課長 うえだ しんや上田 信也

平成24年度 宇都宮国道事務所 事業費



(単位：百万円)

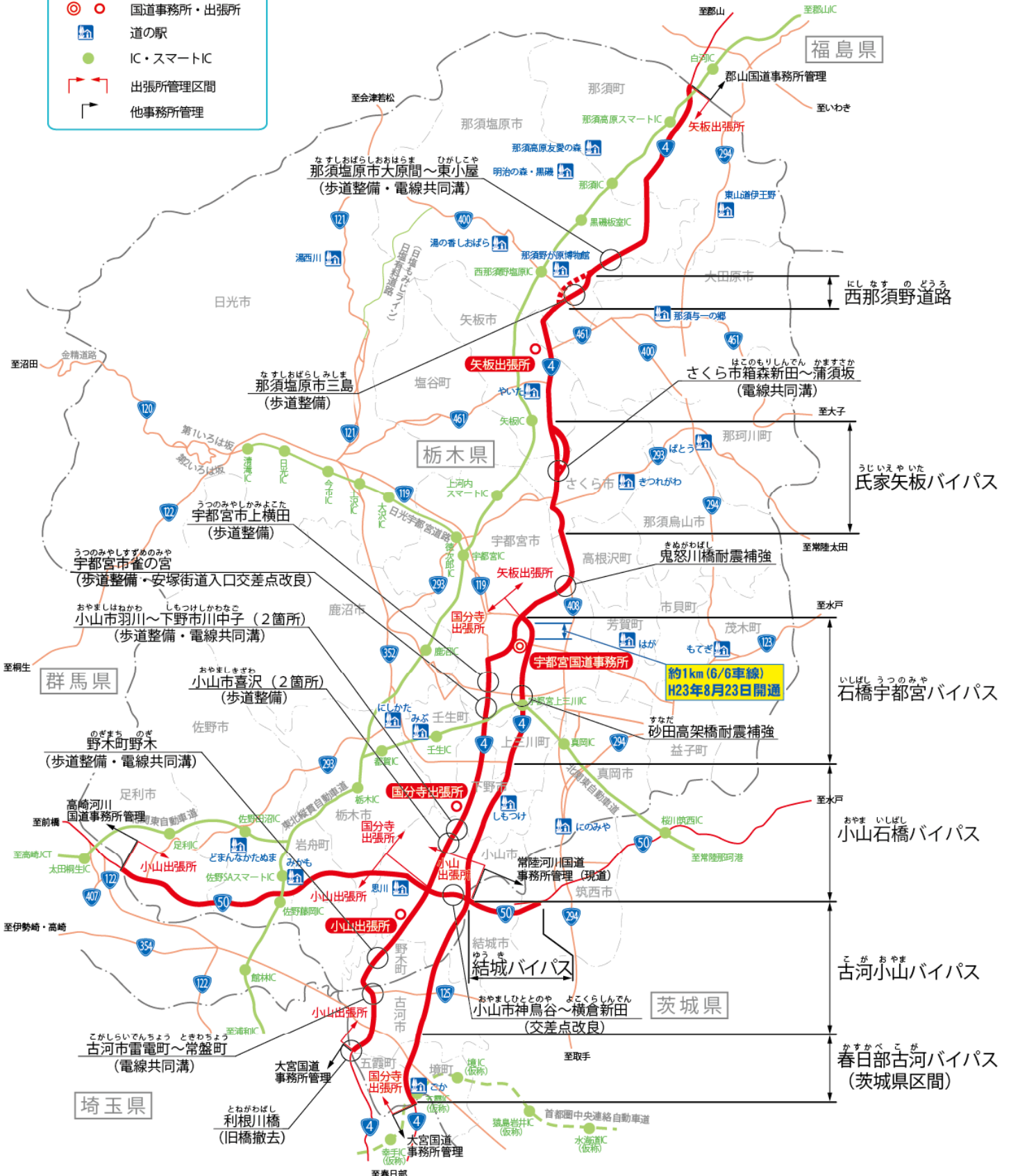
事業名		事業費
改築事業		3,818
	国道4号 氏家矢板バイパス	976
	国道4号 西那須野道路	910
	国道4号(新4号国道) 春日部古河バイパス	1,180
	国道4号(新4号国道) 古河小山バイパス	300
	国道4号(新4号国道) 小山石橋バイパス	90
	国道4号(新4号国道) 石橋宇都宮バイパス	7
	国道50号 結城バイパス	10
	国道4号 利根川橋	345
交通安全事業	国道4号 安塚街道入口交差点 国道4号 大原間歩道整備 国道50号 小山地区交差点改良 他8箇所	2,802
電線共同溝事業	国道4号 小山羽川(2)電線共同溝 他5箇所	570
合計		7,190

※上記のほか、維持管理費、調査費、業務取扱費等がある。

平成24年度事業箇所 (主な事業箇所)

【凡例】

- 国道 (管理区間)
- 国道 (県管理区間)
- 高速自動車道・有料道路
- ◎ ○ 国道事務所・出張所
-  道の駅
- IC・スマートIC
- [] 出張所管理区間
-  他事務所管理



国道4号 氏家矢板バイパス

H24年度事業費：9.76億円

【事業の概要】

国道4号氏家矢板バイパスは、栃木県塩谷郡高根沢町上阿久津から、矢板市片岡間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を目的とする、延長13.9kmのバイパス及び現道拡幅事業です。

事業箇所：栃木県塩谷郡高根沢町上阿久津～矢板市片岡

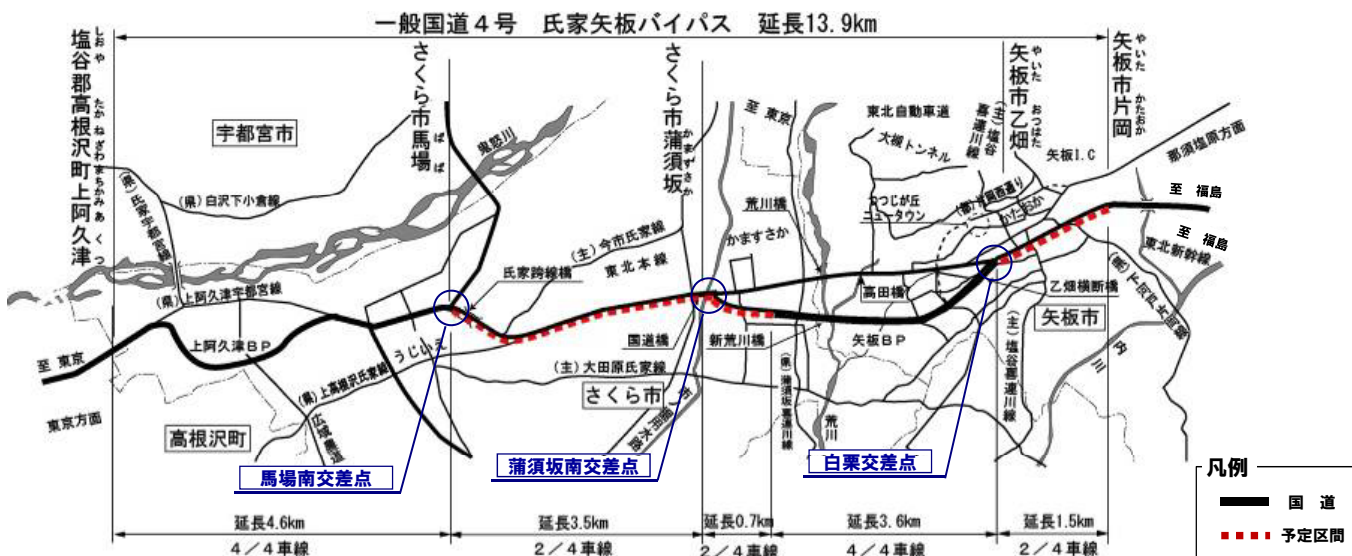
延長：13.9km
 (うち、4車線開通区間：8.2km
 2車線開通区間：5.7km)

【平成24年度の予定】

調査設計及び用地買収及び改良工事を実施します。
 平成24年度は、全線4車線で開通する予定です。

【事業の効果】

氏家矢板バイパスが整備されることにより、地域間の連携を強化し、さくら市及び矢板市の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



馬場南交差点付近（福島方面を望む）



白栗交差点付近（福島方面を望む）

にしなすの 国道4号 西那須野道路

H24年度事業費：9.10億円

【事業の概要】

国道4号西那須野道路は、栃木県那須塩原市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とする、延長4.6Kmのバイパス及び現道拡幅事業です。

事業箇所：栃木県那須塩原市三区町～西富山

延長：4.6km

【平成24年度の予定】

道路設計、用地買収及び環境整備工を実施します。

【事業の効果】

西那須野道路が整備されることにより、地域間の連携を強化し、那須塩原市街地周辺の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



国道4号(新4号国道)

かすかべこが こがおやま おやまいしほし いしほしうつのみや
(春日部古河バイパス、古河小山バイパス、小山石橋バイパス、石橋宇都宮バイパス)

H24年度事業費：15.77億円

【事業の概要】

新4号国道は、埼玉県越谷市を起点とし栃木県宇都宮市に至る、延長約80.5kmの道路です。宇都宮国道事務所では、茨城県猿島郡五霞町から栃木県宇都宮市までの延長62kmの区間を整備しています。

春日部古河バイパス、古河小山バイパス、小山石橋バイパス、石橋宇都宮バイパスの各事業として整備を進めており、周辺市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とするバイパス事業です。

事業箇所：茨城県猿島郡五霞町
～栃木県宇都宮市

延長：約62km

【平成24年度の予定】

道路設計及び新利根川橋の橋梁上部工、栄橋下部工、五霞・古河・境・上三川・上蒲生地区において改良工事を実施します。

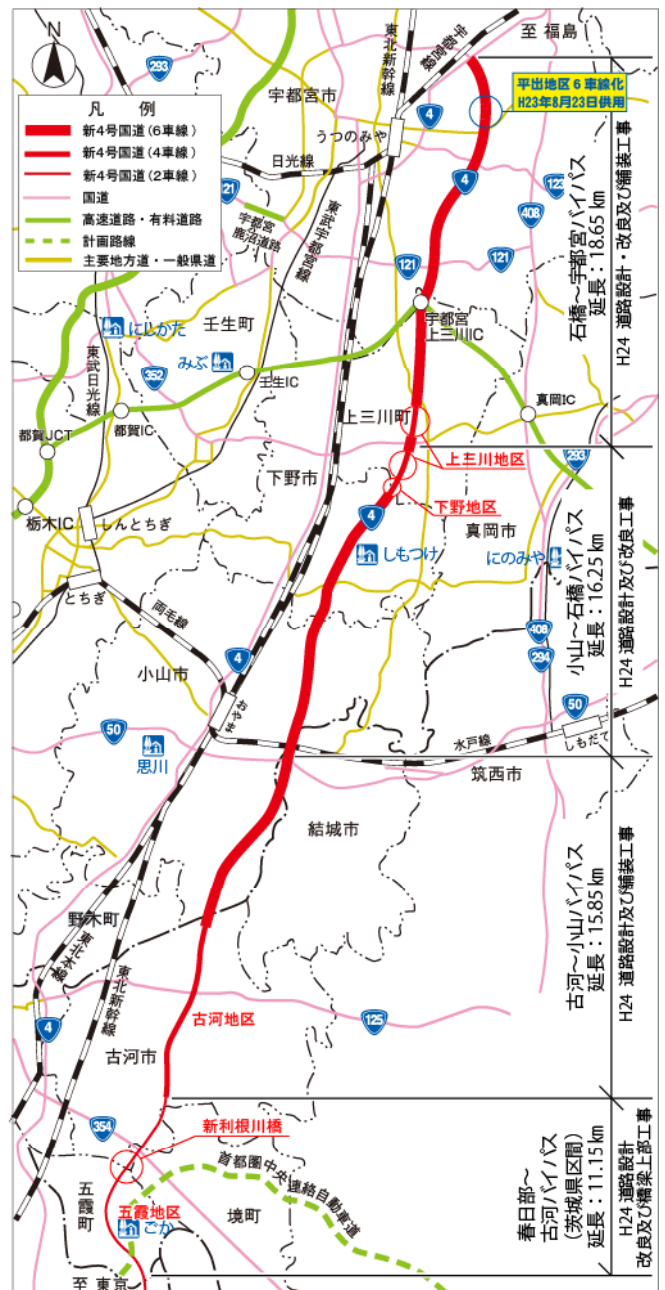
平成24年度は石橋宇都宮バイパスが6車線で全線開通する予定です。

【事業の効果】

新4号国道の整備により、地域間の連携を強化し、並行する現道や市街地周辺の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



新利根川橋付近（福島方面を望む）H24.3撮影



やすづかかいどういりぐち
国道4号 安塚街道入口交差点改良

H24年度事業費：2.64億円

【事業の概要】

国道4号安塚街道入口交差点は、右折待ち車両に後続車が追突する事故が多発しているため、交通事故対策として交差点改良（右折レーン設置）を行うとともに、歩道幅員が狭小であるため、歩道の拡幅を行います。

事業箇所：栃木県宇都宮市雀の宮地先



【平成24年度の予定】

調査設計及び改良工事を実施します。
 平成24年度は、交差点改良が完了する予定です。

【事業の効果】

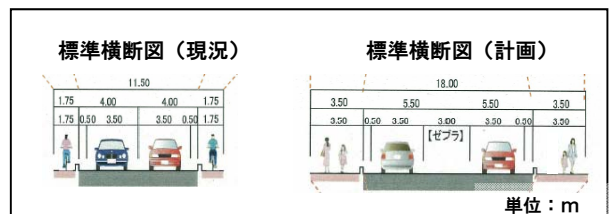
当該交差点周辺には、JR雀宮駅、病院、商業施設が隣接しているとともに、周辺の小学校の通学路に指定されていることから、交差点改良による交通事故対策とともに、歩道を拡幅することにより、歩行者や自転車の安全性の向上を図ります。



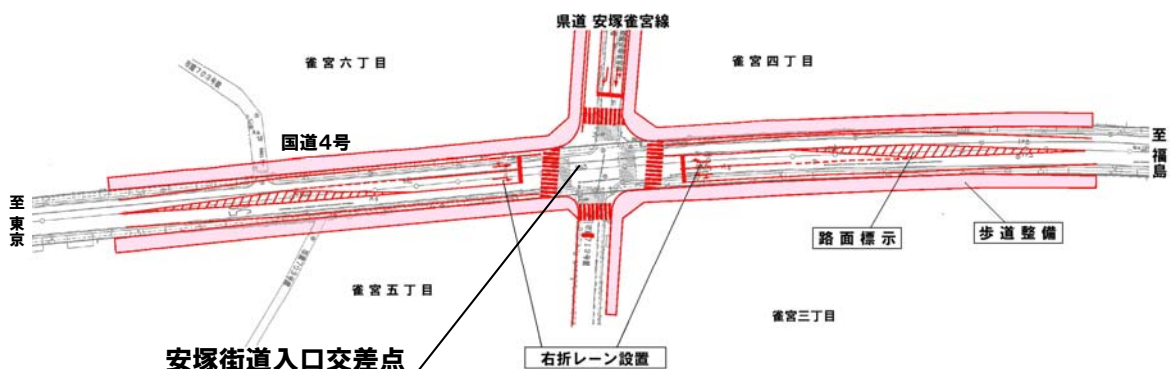
H24.3撮影



安塚街道入口交差点付近の状況



◇計画平面図



国道4号 おおはらま 大原間歩道整備

H24年度事業費：1.26億円

【事業の概要】

国道4号大原間歩道整備は、おおはらまみなみ大原間南交差点からひがしこや東小屋交差点までの0.7kmの区間において、上下線の歩道の整備を行い、良好な歩行空間を確保して、歩行者の安全性向上を図ることを目的とした事業です。

事業箇所：なすしおばらしおおはらま栃木県那須塩原市大原間～ひがしこや東小屋
延長：0.7km



【平成24年度の予定】

調査設計、用地買収及び改良工事を実施します。

【事業の効果】

当該箇所の周辺には、JR那須塩原駅や病院等が立地しています。また、当該区間には、歩道が未整備な箇所もある一方で、大原間小学校の通学路として利用されていることから、地元からは歩道の設置が望まれています。歩道整備を実施することにより、歩行者の安全性向上を図ります。

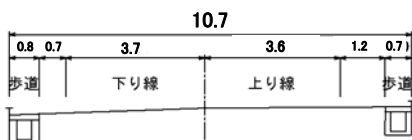


H24.3撮影

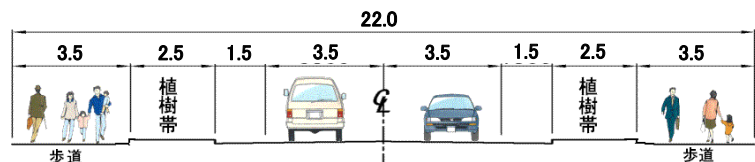


大原間付近の状況

標準横断面（現況）



標準横断面（計画）



単位：m

おやまちく 国道50号 小山地区交差点改良事業

H24年度事業費：2.16億円

【事業の概要】

国道50号の11箇所の信号交差点が集中する当区間(国道4号～新4号国道)では、各交差点付近における急停止挙動に伴う追突事故、右折レーンからはみ出した右折待機車両への追突事故が多発していることから、交差点改良を行います。

事業箇所：栃木県おやましひととのや小山市神鳥谷～よこくらしんでん横倉新田



【平成24年度の予定】

調査設計及び改良工事を実施します。

【事業の効果】

交差点の右・左折レーンの延伸、カラー舗装、路面標示等の整備を行うことにより、追突事故や右折事故、出会い頭事故の削減を図るものです。



H24.3撮影

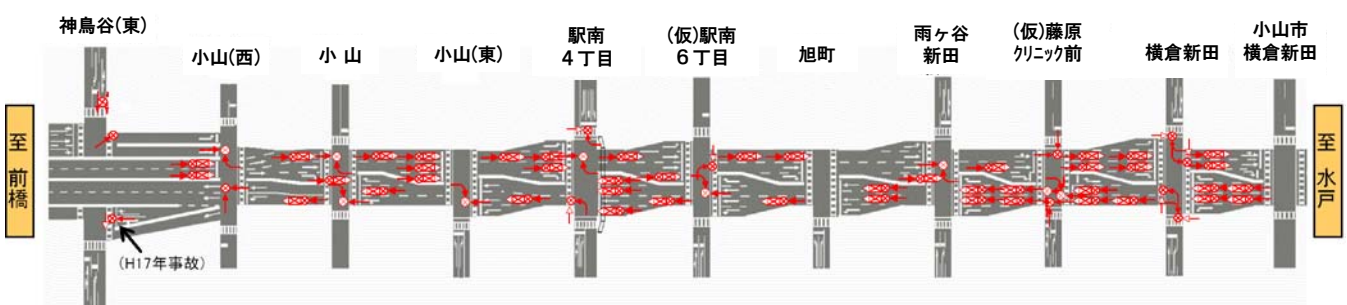


小山交差点付近の状況



駅南4丁目交差点付近の状況

◇小山市区間の事故状況



電線共同溝事業

H24年度事業費：5.7億円

【事業の概要】

宇都宮国道事務所が管理する国道4号において、市街地の防災機能の向上と美しい街並みの形成を図るため、電線類を地中化する電線共同溝の整備を進めます。

【平成24年度の予定】

- ・ 国道4号 こがしらいでんちょう ときわちょう 古河市雷電町～常盤町 [延長：1.5 km]
- ・ 国道4号 のぎまち のぎ 野木町野木 [延長：1.5 km]
- ・ 国道4号 おやましはねかわ 小山市羽川 [延長：1.3 km]
- ・ 国道4号 おやましはねかわ しもつけしかわなご 小山市羽川～下野市川中子 [延長：3.4 km]
- ・ 国道4号 はこのもり しんでん かますさか さくら市箱森新田～蒲須坂 [延長：2.0 km]
- ・ 国道4号 なすしおぼらしおおはらま ひがしこや 那須塩原市大原間～東小屋 [延長：1.3 km]

【事業の効果】

電線共同溝は、機能的な道路空間と美しい街並みを形成するため、電線及び光ファイバー等をまとめて歩道の下などに收容し、電線類を地中化することにより、災害時の緊急輸送道路の確保、円滑な消防活動、台風・地震等の災害に強い街づくり、高度情報化に向けて通信の信頼性の向上を図ります。

《電線共同溝の整備事例》



整備前



整備後

維持管理

【事業の概要】

宇都宮国道事務所では、栃木県内（一部茨城県・埼玉県を含む）の国道4号、新4号国道、国道50号の3路線、総延長約234kmにおいて、良好な道路の機能を維持し、安全を保つため道路の維持管理を行っています。

【平成24年度の予定】

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保つため、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保しつつ、全国統一の基準を踏まえ、「道路巡回」、「道路清掃」、「除草」、「樹木の剪定」、「除雪」などの各作業のほか、「橋梁の耐震補強」、「橋梁補修」、「橋梁点検」などを実施します。

○耐震補強

- ・国道4号鬼怒川橋きぬがわすなだ砂田高架橋

を実施予定

○橋梁補修

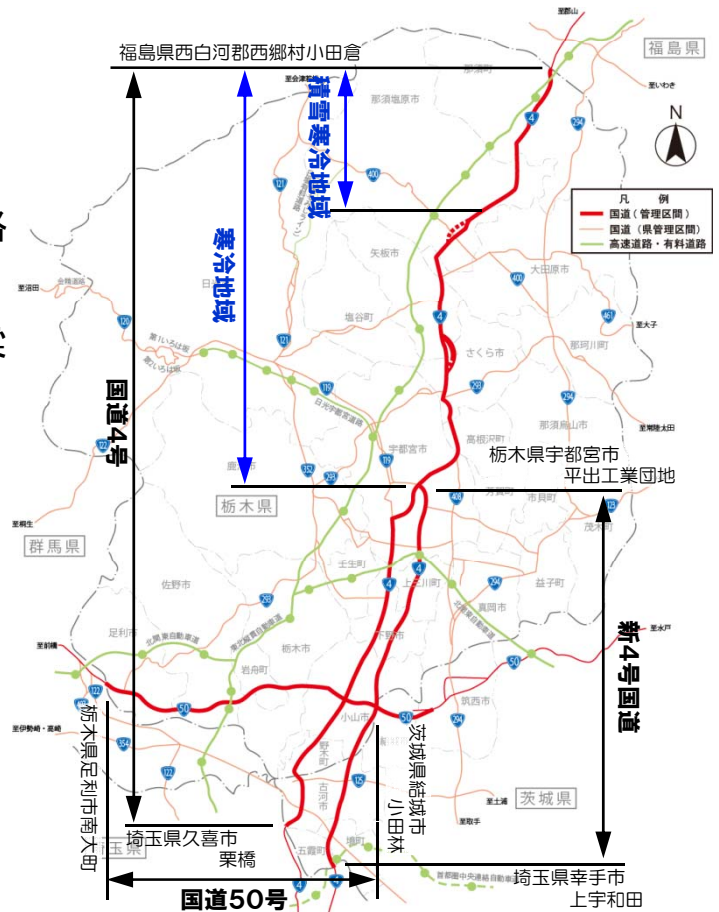
- ・国道50号渡良瀬川大橋わたらせがわ他10橋

を実施予定

○橋梁点検

- ・国道4号鬼怒川橋(新)きぬがわ他50橋

を実施予定



【巡回(落下物処理)】



【路面補修】



【除草】



【橋梁点検】



【凍結防止剤散布】



【除雪作業】

